

東大臨床検査セミナー2008

テーマ [臨床医の立場・臨床検査技師の立場から価値ある尿検査・髄液検査を目指して](#)

主催 東京大学医学部附属病院検査部

後援 日本臨床検査同学院, 東京都臨床検査技師会, 腎・泌尿器検査研究会

日時 平成20年6月28日 土曜日 10時から17時

会場 東京大学医学部附属病院中央診療棟Ⅱ 7階大会議室・中会議室・小会議室

受講料 5,000円 定員 70名

09時30分から10時00分

受付

10時00分から10時15分

開校式 挨拶

矢富 部長 横田 技師長

10時15分から12時00分

価値ある尿検査にせまる

座長 池田 副部長

——臨床検査技師から考える尿検査——

宿谷 主任 (45分)

——腎臓, 高血圧を診る医師が考える尿検査——

下澤 講師 (45分)

総合討議 (15分)

12時00分から13時00分

休憩

13時00分から15時15分

価値ある髄液検査にせまる

座長 下澤講師

——臨床検査技師から考える髄液検査——

田中主任 (40分)

——脳神経外科医から考える髄液検査——

鎌田 講師 (40分)

——血液内科医から考える髄液検査——

小池 助教 (40分)

総合討議 (15分)

15時15分から15時30分

休憩

15時30分から17時00分

尿検査・髄液検査症例検討会

宿谷 主任 常名 主任

症例を提示するので各自で回答する。症例の中には、顕微鏡の鏡検実施・ポスター閲覧・実物の検体を観察など体験しながら設問に回答するゲーム感覚満載の症例検討会
(中会議室・小会議室を使用して症例を提示し、解説は大会議室で行う)